

# 景観まちづくり助成金活用事業

## 景観まちづくり基金のこれまで

景観まちづくりを推進するため、下田市では市民の皆さんよりお寄せいただいた寄附や、ふるさと納税を原資とした“景観まちづくり基金”を設置し、登録まち遺産や歴史的風致形成建造物の維持管理や修繕、景観に関する協定を結ぶ団体や景観まちづくり推進組織の活動資金への助成金として活用しています。

年 度	積立金（円）	取崩額（円）	累計額（円）
平成 22 年（2010）	1,530,000	0	1,530,000
平成 23 年（2011）	1,485,000	0	3,015,000
平成 24 年（2012）	1,100,000	2,000,000	2,115,000
平成 25 年（2013）	1,310,000	0	3,425,000
平成 26 年（2014）	1,055,005	0	4,475,005
平成 27 年（2015）	6,821,800	926,000	10,370,805
平成 28 年（2016）	9,505,310	104,000	19,772,115
平成 29 年（2017）	5,100,498	208,785	24,663,828
平成 30 年（2018）	6,819,640	1,260,945	30,222,523
令和元年（2019）	8,788,817	1,179,441	37,831,899
令和2年（2020）	5,853,793	3,620,727	40,069,965
令和3年（2021）	9,534,998	2,916,364	46,688,996
令和4年（2022）	9,770,883	2,188,346	52,148,808
令和5年（2023）	14,157,363	478,866	65,827,305
令和6年（2024）	18,089,807	1,763,666	82,153,446

※令和6年（2024）度ふるさと納税実績値

寄附件数：540 件 寄附金額合計：29,175,500 円

## 令和6年度景観まちづくり助成金活用状況

「歴史のまち 下田」を象徴する歴史的建造物は、歴史的まちなみ景観を形成する中心的役割を担います。それら建造物は、所有者の皆さんがこれまで管理され、活用されてきたことで、現在まで大切に受け継がれています。歴史的な建造物であるが故に、現代建築物とは異なる苦労や金銭的負担があると伺っています。こうした取組みへの一助となるよう、条例や助成金交付要綱に基づき財政的支援をさせていただいています。所有者の皆さんの努力と、皆さんからの支援をいただきながら、後世に伝えるべき大切な下田の「まち遺産」を守り、受け継ぐべく活動を続けていきます。

名 称	助成対象	助成金（円）	事業内容
I 雜 忠	歴史的風致形成建造物 登録まち遺産	1,763,666 円	老朽化による破損部分の修繕



修繕前

修繕中

修繕後



## —景観まちづくりへの決意—

下田市では、平成 21 年（2009）12 月 17 日に「下田市景観まちづくり条例」の制定と、「下田市景観計画」を策定しました。

市民が誇りに思い、次世代に継承したい、下田を象徴し、下田らしいものを「下田まち遺産」と名付け、市の景観施策の柱としてきました。この下田まち遺産を“未来へつなげていく”ことを目指し、「知る」「創り・育てる」「支える」の三本柱を景観まちづくりの方針として推進してきました。三本柱の方針の内、「知る」取組みの一つとして市の景観広報誌『下田まち遺産手帖』を発行してきました。これからも市民共有の財産として、この「下田まち遺産」を未来へつなげるべく、取組を続けていきます。

## 〈バックナンバー問合せ先〉

下田市建設課都市住宅係

まち遺産手帖 担当

TEL : 0558-22-2219

Mail : kensetsu@city.shimoda.lg.jp

※一部在庫が無い号もあります。

ご了承ください。